

2021年「里山kids」(年間登録制プログラム)

小学4～6年生を対象に、1年を通して自然体験を行うプログラムです。今年は午前と午後に分れ、それぞれ10名の子どもたちが季節に応じた様々な自然体験を行います。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、6月からの開催となりました。



6月の初回は、初めて出会うお友達同士で自己紹介をした後、グループに分かれて草花や昆虫を観察しながら、森を歩きました。7月は夜の森歩き。昼と夜に聞こえる生きものの声の変化に耳を澄ましたり、真っ暗な夜の森で懐中電灯に照らされた生きものや、電灯に集まる蛾やカナブンなどの生きものを観察しました。8月は、野原や田んぼ周辺で植物を観察した後、顕微鏡を使って集めた花の細部を観察しました。この後も、草木染めや冬越し中の生きもの観察などを行う予定です。



令和4年度の募集は2月頃の予定です。詳しくはホームページ等でご確認ください。

2021年6月26日「大人のための自然観察会(昆虫)」

大人の方を対象に、初夏の野原で昆虫観察を行いました。職員が昆虫を探す際のポイントや虫網の使い方などを紹介した



後、川沿いや森の中など、環境を替えながら昆虫観察を行いました。捕まえた昆虫は、じっくり細部まで観察しました。また、参加者同士が興味がある昆虫について、情報交換する姿も見られました。

2021年7月4日「森のおさんぽ会」

1～3才とその保護者を対象にした自然観察会。毎月、草花や生きものを観察しながら、のんびり森をおさんぽしています。今回は、野原を中心に夏の生きものを観察しました。バッタの体やトンボの翅をもつてみたり、田んぼの中



たカエルを観察しました。初めは恐々触っていたのが、いつの間にか笑顔で、捕まえた生きものを見せてくれたのが印象的でした。

森の楽しみかた

森の館では、手ぶらで来ても森を楽しんでいただけるよう、「虫網・虫かご(数量限定)」の貸出や「森のたんけんシート」を配布しています。採集した生きものは、館内の標本や図鑑を使って名前を調べることが出来ます。また、森の見どころや観察出来る生きものを知りたい場合は、森の館にいるスタッフに聞いていただくか、館内の標本や図鑑を使って調べることが出来ます。

秋から冬にかけては、野鳥や冬越し生きものを観察したり、紅葉(黄色に色づく樹木中心)や落ち葉の道を歩くことが出来ます。是非自分好みの森の過ごし方を見つけて、森での時間をお楽しみください。



堺自然ふれあいの森

開園時間 9:00～17:30(3月～10月)・9:00～16:00(11月～)  
休園日 月曜(祝日の場合は、翌日休み)、年末年始  
入園・入館・駐車場 無料

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740

TEL 072-290-0800 <http://www.sakai-fureainomori.jp/>

**バス** 泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅 南側2番のりば「鉢ヶ峯行き」  
「公園墓地北口」下車 徒歩 約1,200m  
※日・祝は「堺公園墓地行き」あり。「自然ふれあいの森前」下車すぐ

**車** 阪和自動車道 堺ICより泉北ニュータウン方面へ約7.5Km  
「堺公園墓地」を目標にお越しください

発行 堺自然ふれあいの森 指定管理者(ふれあいの森パートナーズ)  
ふれあいの森パートナーズは、(株)生態計画研究所・NPO法人いっちゃんクラブの連合体です。



堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第43号

発行：令和3年9月 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)

新型コロナウイルス感染症対策について

(令和3年9月末現在)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、現在以下の対応を実施しています。

■来園時のお願いについて

- ・発熱や体調不良時の来園自粛
- ・来園時の手指消毒(森の館内外の複数個所に消毒液を設置しています)
- ・マスクの着用(屋外で職員や他の来園者と会話をする際や館内利用時)
- ・館内での飲食禁止

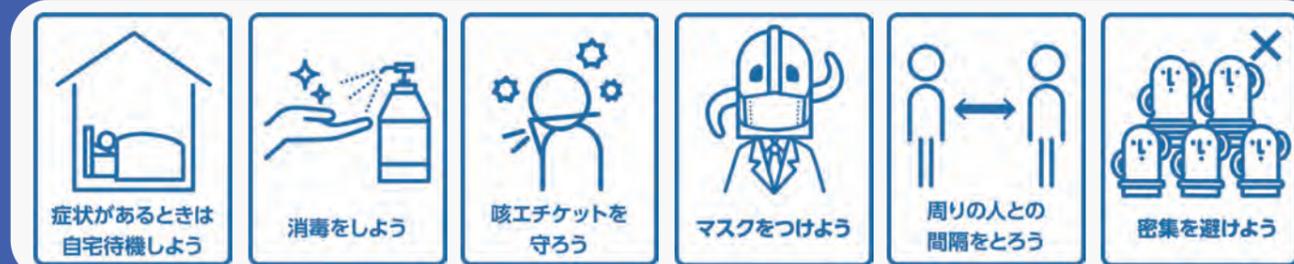
■イベントについて

- ・参加人数の縮小
- ・検温及び体調確認
- ・付き添いの方は参加者から離れた場所からの見学

■団体受入れについて

- ・1団体最大100名まで一度に来園可能
- ・スタッフによるプログラム対応は、内容や人数に制限有。

※この他にも利用制限を設けている場合があります。最新情報は、ホームページもしくは、ふれあいの森までお問合せ下さい。



堺スタイル

コロナ禍での取り組みについて

■SNSの活用

今年度の前半は、緊急事態宣言を受けて何度か臨時休園となりました。その間、市民のみなさまにふれあいの森の様子や魅力をお伝えするため、SNSでの発信に力を入れました。これからも随時更新しますので、ふれあいの森の四季の風景や生きもの様子を是非ご覧ください。

以下のSNSにて 堺自然ふれあいの森 で検索  
Facebook・Instagram・Twitter・YOUTUBE

■市内の小学校へ理科教材(ナミアゲハの卵と幼虫)の配布

毎年、堺市教育センターから依頼を受け、小・中学校の先生を対象にした教員研修会を開催していますが、今年は全て中止となりました。その代わりとして、蝶の生態や飼育に関する研修については、授業で活用していただくため、園内で採集したナミアゲハの卵と幼虫・資料の提供を行いました。



**幼** 稚園の年長の時からふれあいの森に来ています。今は小学校5年生です。ふれあいの森の近くにある上神谷の田んぼの景色が好きで、車で走っていた時にたまたまお父さんがふれあいの森を見つけました。それからは、お母さんが駅前で買い物をする時には、ふれあいの森に遊びに来るようになりました。初めて来たとき、「すごい自然がある!」と思いました。小さい頃は飛んでいる生きものとかは採れなくて、ダンゴムシとかをつかまえていました。ふれあいの森で虫に詳しいスタッフの人に虫のことを教えてもらって、どこにどんな生きものがいるかがどんどん分かるようになってきました。普段見れないいきものをここでは見るできるので楽しいです。今年は高いところを飛ぶタマムシを取りたくて、釣竿を使って自分で虫網を作りました。これからは、ふれあいの森で、オオムラサキを取るのが目標です!

個人活動中!



ふれあいの森歴6年  
稲部 和善さん

**小** 学3年生から6年生まで里山kidsで活動をしていました。中学生以降はジュニアレンジャーとして活動を続けてきました。年齢が上がるごとに、次々と色々な事に興味がわき、中学生になってからは、より主体的に動くことができるようになりました。6年生の時に、里山kidsでフクロウのペリットを観察する機会があり、ジュニアレンジャーの最初の4年間は、ふれあいの森でフクロウのペリットについて調べました。ジュニアレンジャーでは、他のメンバーはそれぞれ興味があることをしているけど、別々の事をやっているようでつながってたりもします。例えばペリットの中に虫の脚が入っていると、虫に詳しいメンバーが教えてくれます。刺激的でもあり、居心地のよい空間です。現在は高校3年生で進路を考える時期です。自分が将来何がしたい

ジュニアレンジャー活動中!



ふれあいの森歴9年  
ずんださん

んだらうと考えたときに、ふれあいの森のようなところで働きたいと思う

ようになりました。そのためにはどんな勉強をすれば良いのか、具体的な進路を考えているところです。大学生以降も、回数は減るかも知れないけど、時々森の様子を見に来たいと思っています。

里山Kids 活動中!



ふれあいの森歴9年  
ゆうちゃんさん

**3** 才からイベントに参加しています。森の手入れをするイベントで、坂道をゴロゴロ転げ落ちたのが楽しかったのを覚えています。里山Kidsは3年目。屋上で寝転がって星を見たときは、たくさん星があっぴゅりしました。ふれあいの森にずっと来ているうちに虫のことに詳しくなって、学校で虫博士と呼ばれるようになりました。ふれあいの森は自分にとって、生きものについて教えてもらえるところ。今の目標は、夜の観察で見たクワガタと、まだ見たことのないミヤマクワガタをつかまえること。来年、中学生になったらジュニアレンジャーに入りたいと思っています!

ました。ふれあいの森は自分にとって、生きものについて教えてもらえるところ。今の目標は、夜の観察で見たクワガタと、まだ見たことのないミヤマクワガタをつかまえること。来年、中学生になったらジュニアレンジャーに入りたいと思っています!

# ふれあいの森 インタビュー!

堺自然ふれあいの森と関わりのあるみなさんにこれまでのこと、いま現在のこと、これからのことなどについて、お話をきいてみました!

ジュニアレンジャー活動中!



ふれあいの森歴6年  
こうちゃんさん

**小** 学3年生の時に里山Kidsの存在を知って、4年生になったら行きたいなと思って参加するようになりました。中学生になってジュニアレンジャーにも入り、好きなだけ自分のやりたい虫取りをしています。自主活動がメインなので、時間を好きなだけ使って虫が採れるのでめちゃくちゃ楽しいです。ふれあいの森でこれまで採集された記録のなかったオオヤマトンボや、オオムツボシタマムシという堺市で初記録の虫を採れたのも嬉しかった!ジュニアレンジャーの他のメンバーからは、自分の知らないことを教えてもらえるので刺激になります。

これからも、もっともっと虫を採りたい。ふれあいの森は自分の庭のように長い時間過ごしているけど、まだまだ会えていない虫がいる気がするから飽きません。虫に詳しいふれあいの森のスタッフの人みたいに、どんな虫でも見たらコレ!と名前がわかるようになりたいです。



オオムツボシタマムシ

**2** 才の時に初めてきました。今は7才です。幼稚園の時に、自分が小さくなって、カワセミの背中に輪ゴムをかけて乗って飛ぶ夢を見ました。空を飛びたくて自分で羽を作ったりしているうちに、鳥のことがとっても好きになりました。カワセミとウグイスとフクロウをまだ見たことが無いのでふれあいの森で見たい! いっちゃん子ども自然塾ではヤゴとかおたまじゃくしとか田んぼの生きものを

いっちゃん子ども自然塾活動中!

ふれあいの森歴5年  
横田 栞奈さん

調べたのが楽しかったです。生きものが大好きなので、いっぱい生きものがいる自然が大好き。いつか、誰も見たことのない新しい鳥を見つけたいです!

**引** 越してきてすぐのとき、近所の人にふれあいの森について教えてもらったのがきっかけで遊びに来るようになりました。上の子と母親が1~3才を対象にしたイベントに毎月通っていました。自分自身も子どものころから自然が好きで、今になってもやっぱり自然が好き。去年、ビオトープ管理士の資格を取ったのもあり、里山保全ボランティア養成講座にも参加してみようと思いました。自分にとって自然は心地よいので、せつかく今でも残っている里山を、後世に残したいという気持ちがあります。里山保全の活動に関わりたくけれど、働いているのでなかなか参加出来ないのが悩みです。月に1、2回くらい休みの日に参加出来たらいいのですが…。これからも夜の森の観察会など、いろんな自然を家族で体験できたらと思っています。

里山保全ボランティア養成講座受講中!

ふれあいの森歴5年  
横田 雅俊さん

